



miniature sweets campus | フルーツ

オレンジ＆レモンの作り方

〈原型〉パテで果肉の輪切りを作る。〈型どり＆成形〉スケルくんで透ける果肉を抜く。

〈皮の成形〉樹脂粘土で白い皮を巻く。〈皮の着色〉皮の色と白い筋を描いてニスで仕上げ。

◎ 用意するもの

原型・型どり

造形パテ ページュ・白 / 1:1
プラ板・クリアファイル (8×8cm) ・セロテープ
ブルーミックス / 青・白 各スケールE×2

粘土・塗料

スケルくん / 果肉: スケールE+F を2つ 樹脂粘土 / 皮: スケールIで計量
タミヤ デコレーションカラー / レモンシロップ・オレンジシロップ

絵の具 (アクリルガッシュ)

○ ホワイト ● イエローオーカー ● パーマネントイエロー
● パーマネントオレンジ

道具

スケール・爪楊枝・目打ち・デザインナイフ ブラシ / 皮の質感
丸型 1.2cm・1.5cm デザインハサミ (小さいハサミ)
筆 キャムロンプロ 10/0 (皮塗り)・100/0 (筋)・水・綿棒
ベビーオイル・割り箸+両面テープ
ホコリ取り用のジェル (または粘土)

仕上げ・その他

木工用ボンド ツヤありニス / ウルトラパーニッシュ グロス
ラップ・ジップロック・スポンジ

PART 1 | 原型

1 果肉の模様をつける道具を作る

- 1 8cm×8cmに切ったクリアファイルを、対角線で切って三角形にする
- 2 長い辺の真ん中を持って折り曲げ、くるくる巻く。先が小さくキュッとつぼまるまで巻いて、セロテープで止める
- 3 先の一方をギュッと押して、少し楕円形にする



先を楕円にした道具

2 果肉の原型を作る

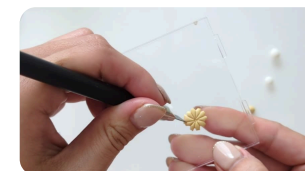
オレンジとレモンは色が違うだけで、形は同じ。ここでは果肉の部分だけ

をパテで作ります (皮はあとで樹脂粘土で)。

- 1 造形パテのページュと白を1:1で混ぜる
肌の弱い方はゴム手袋を。
- 2 樹脂粘土でスケールDとCを測り、同じくらいの量のパテを用意する (大小2つ)
パテはスケールにくっつくため。
- 3 丸めてプレートにつけ、厚さが均等な円形にする (Dで直径約1.1cm)
べたつくときは手を少し濡らします。
- 4 中心に穴を開け、線を10本入れる (上下に1本ずつ、左右の半円に4本ずつ)
- 5 外側の縁を、デザインナイフで1粒ずつしずく型に切り取り、一周したらカクカクを整える
- 6 作った道具で、しずくごとに中心からちょんちょんと粒の模様をつける
- 7 中心の穴を目打ちで開け直し、目打ちでポンポンと質感を足す。薄くなった線をデザインナイフで描き直す
- 8 横から見て厚さが均等か確認。Cでも一回り小さく作る



しずく型に切り取る



道具で粒の模様をつける

💡 きっちり揃えなくてOK

本物のオレンジも形はバラバラ。しずく型が全部ビシッと揃ってなくても大丈夫です。

⚠️ パテのカスはやわらかいうちに掃除

固まると取れなくなります。ナイフの先についたパテも、やわらかいうちにきれいに。

PART 2 | 型どり & 成形

3 ブルーミックスで型をとる

- 1 ブルーミックスの**青と白をスケールE**ずつ計量（原型2つ分）
混ぜるとすぐ硬化が始まるので、準備してから。手袋推奨。
- 2 手早く混ぜ、色が均一になったら転がして表面をなめらかにし、原型に押しつける
- 3 裏から空気が入っていないか確認し、**30分ほど**置いて硬化させる



原型に押しつけて型どり

4 スケルくんを着色する

果肉は、透け感のあるスケルくんで作ります。くせのある粘土なので、基

礎編「粘土の種類、性質」の動画を見てから始めましょう。

- 1 触る前に、ジェルや粘土で**手とスケールのホコリ**を取る
- 2 スケルくんを**スケールE+F**で2つ計量する
使わない分はラップしてジップロックへ。
- 3 爪楊枝で**レモンシロップ／オレンジシロップ**を入れて着色する
- 4 **しっかりすり混ぜる**
混ぜ足りないとひび割れの原因になります。

⚠ スケルくんは乾くとかなり濃くなる

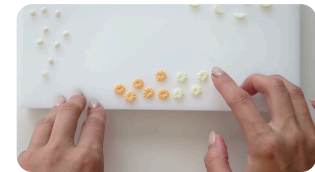
完成させたい色よりかなり手前で止めます。慣れないうちは、少しだけ残して1日乾かし、色を確認してから成形するのがおすすめです。
透ける作品はホコリがとても目立ちます。作業中も見つけたらその都度取ります。



爪楊枝でシロップを入れる

5 型で成形し、裏面にも模様をつける

- 1 型にベビーオイルを塗り、粘土を**すり切り**で詰める
- 2 型を少ししならせて空気を入れ、取り出す
模様が消えるので、表面にはなるべく触れないように。
- 3 ホコリのないスポンジの上で**30分ほど**置く
- 4 表面が乾いたら、もう一度型に戻し、**裏面**を上からギュッと押しつけて模様をつける
型の大きさを間違えないように。時間が経ちすぎると固まって模様がつかま
- 5 模様をつけた面を上にして、**1日ほど**乾燥させる



型から取り出した果肉

6 白い皮を巻く

- ① 樹脂粘土をスケールIで計量し、ホワイトと少しのイエローオーカーでほんのり着色する
小さいオレンジ1つは皮をつけずに残しておきます（フルーツサンドの中身用）。
- ② スケールEで計量し、指でコロコロと細長く伸ばす
- ③ 果肉の側面にボンドを少しつけて粘土をくっつけ、半周ずつボンドをつけながら、親指と人差し指で押しつぶすように巻く
つなぎ目にもボンドを。
- ④ ブラシで表・裏に質感をつける
- ⑤ 小さい方は1.2cmの丸型で、果肉が中心にくるようにくり抜く（爪楊枝で押すと取れる）
- ⑥ 側面にも、最後に表裏にもブラシで質感をつける
- ⑦ 1日ほど乾燥させる



押しつぶしながら巻く



丸型でくり抜く

💡 ぴったりの型がないとき（大きい方）

1.2cmでは小さく、1.5cmでは白い部分が太すぎる場合は、1.5cmで抜いてから、ハサミで周りを切り落とします。小さい方の白い部分の太さを目安に、少しずつ切って、手で丸く整えてからブラシを。小さなデザインハサミが便利です。

7 皮を着色する

オレンジ

● パーマネントオレンジ ● パーマネントイエロー ● イエローオーカー

- ① 3色を水で溶いて混ぜる
オレンジだけだと強すぎるので、黄色で抑え、イエローオーカーで彩度を落とします。
- ② 側面を塗る。表面にはみ出さないよう、側面の幅の中だけを慎重に一気に一周塗ると手が汚れるので、半周塗って乾かしてから残り半周を。
- ③ 割り箸に貼り、水をたっぷり含ませた薄いオレンジで、白い皮の縁ギリギリを一周塗る
グラデーションのように見えて本物らしくなります。乾いたら裏面も。

レモン

- ① パーマネントイエローに少しイエローオーカーを混ぜ、オレンジと同じように側面 → 縁ギリギリの順に塗る



側面の幅の中だけを塗る

♡ はみ出しても焦らない

水をつけた綿棒でこすれば落とせます。

8 白い筋を描いてニスで仕上げる

- ① 筆を100/0に持ち替え、ホワイトを水でよく溶いて、皮の色（オレンジ/イエロー）を少し混ぜる
- ② 真ん中に白いワタ（ふさふさした部分）を描く
- ③ そこから、原型でつけた線にそってできるだけ細く白い線を入れる
割り箸の向きを変えながら、ゆっくり。乾いたら裏面も。
- ④ 両面描けたら、ツヤありニスを全体と側面に塗る。15分ほどで乾いたら裏面も塗って完成



中心から細い白い筋

★ 透けるフルーツで作品が華やかに

作るのはとても難しいフルーツですが、加わるとケーキがぐっと華やかになります。何度も練習してみてください。

できたら、ぜひ作品を見せてね♡
miniature sweets campus | オレンジ&レモンの作り方